

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こもれび第5		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 2日		2026年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 2日		2026年 2月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	内部研修により、随時職員のサービス力向上に努めていること。	年間100時間/1人の内部研修。	外部の研修や、他事業所との情報交換によるサービスの向上。
2	グループ会社の就労系サービスとの連携が行えること。 独自の就労体験を実施。	放課後等デイサービスのみの考えだけでなく、就労を見据えた支援を目標とし、グループ会社の就労系サービスとの交流の場を積極的に設けている。	本人・保護者を含めたグループ会社就労系サービスの親子見学会の開催。
3	今後の就労サービスに向けた支援と、他放デイとの差別化(就労直結型)が明確であること。	放課後等デイサービスのみの考えだけでなく、就労を見据えた支援を目標とし、グループ会社の就労系サービスとの交流の場を積極的に設けている。	障がい児・家族のニーズをくみ取り、就労サービスに向けたプログラムの向上を図っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者と事業所、保護者同士の交流や外出支援の機会が少ない。	機会の提供や情報の発信を行っていない。	就労サービスの親子見学ツアーや、需要の聞き取り(アンケート)の検討。
2	外部児童系サービスとのつながりが薄い。ネットワークの構築が必要。	外部施設との交流の機会を設けていない。	外部施設との交流の場を設ける(2025年2月~実行中)。交流が深められたら、意見交換や相互で行える企画の提案を行っていく。
3			